



令和3年度長野県
地域発元気づくり支援金

・クラシック音楽
に親しむ講座
VOL.20

「芸術は共鳴する」
蚕さんと
上田で室内樂を織る



ストーリー・コンサート

フランスの芸術

めくるめく感性の輝き



2021.9.10 [FRI]

OPEN 13:30 / START 14:00

PROGRAM

ラヴェル「ピアノ三重奏曲」

フォーレ「ピアノ五重奏曲第2番」ほか

ピアノ
ヴァイオリン
ヴァイオラ
チエロ・お話
佐野 隆哉
渡部 正玄
小池 琴子
高木 真一
高木 琴夏
小池 琴子
佐野 隆哉
渡部 正玄
小池 琴子
高木 真一
高木 琴夏
小池 琴子

上田市交流文化芸術センター サントミューゼ 小ホール

*JR北陸新幹線・しなの鉄道・上田電鉄別所線「上田駅」から徒歩約7分

一般：3,000円(全席自由)

*未就学児の入場はご遠慮ください
*諸般の事情により、曲目が変更となる場合があります

主催：クラシック音楽に親しむ講座の会
企画制作：トウキョウ・アンサンブル・ギルド (ストーリー・コンサート)
後援：上田市 信濃毎日新聞社



Taira Tairadate

▼下記にて、なるべく事前にお買い求めください

【取り扱い店】 サントミューゼ 平安堂上田店 ヒオキ楽器上田店
あさかわ(丸子) 小諸ガス(相生町) ヒオキ楽器佐久平店 西澤書店(野沢)
軽井沢大賀ホールチケットサービス 0267-31-5555(10:00~18:00)

*チケットおもて面に、お名前と電話番号をご記載ください(コロナ対策のため)

【インターネット】 イープラス

【郵送】 直接、事務局へお申し込みもできます。事務局にお電話ください。

「クラシック音楽に親しむ講座の会 事務局」 和田 090-9844-9401

チケットの
お求め方法



芸術は共鳴する・フランス編 ～版画家・山本鼎のフランス留学

版画家・山本鼎(1882-1946)は、愛知県岡崎市に生まれました。彼はのちに長野県上田市ゆかりの芸術家になるのですが、そこには“蚕都上田”が大きな影響を与えています。生糸・蚕種の貿易でおおいに潤っていた明治時代、上田の中でも最も発展していた大屋地区に病院が出来て、その医師として東京で西洋医学を習得した山本鼎の父が妻とともに上田の地にやってきました。

その頃、鼎は20代。東京で木版職人を経て東

京美術学校に学び、在学中から積極的に芸術活動に励んでいました。やがて、親交のあった北原白秋の妹に恋心を抱き、しかし失恋し、その傷心はあまりに深いものでした。そこから少しでも離れるために、フランスに留学することになりました。鼎、29歳の時です。その留学は、鼎の後の人生を決定づけることになりました。

フランスでは19世紀後半から、印象主義とよばれる芸術運動が起きています。



● ヴァイオリン 高木 凜々子 (たかぎ・りりこ)

2017年バルトーク国際コンクール第2位及び特別賞受賞、同年シユロモミンツ国際第3位、東京音楽コンクール弦楽器部門第2位及び聴衆賞受賞。日本音楽コンクール第3位及びE.ナカミチ賞受賞。今までに、読売日本交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京ニューシティ管弦楽団、神奈川フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、大阪交響楽団、ハンガリー国立交響楽団セゲド、ハンガリーソルノク市立交響楽団、など国内外の楽団と共に演奏。リサイタル活動やYouTubeテレビジョンなどのメディア活動も積極的に行っている。3歳からバイオリンを始

め、小中学校においては、全日本学生音楽コンクール東京大会、日本演奏家コンクール、洗足学園ジュニアコンクール、全日本ジュニアコンクール、かながわ音楽コンクール、横浜国際音楽コンクール、全て1位受賞。2010年度財団法人ヤマハ音楽振興会最年少音楽奨学生。2018年度2021年度ローム音楽奨学生。東京藝術大学音楽学部卒業、現在桐朋学園大学音楽研究科修士課程に在学中。使用楽器は(株)黒澤楽器店より貸与されているストラディヴァリウス「Lord Borwick」(1702年)公式ウェブサイト <https://www.ririkotakagi.com/>



● ヴァイオリン 小池 彩夏 (こいけ・あやか)

3歳からヴァイオリンを始める。これまでに鈴木亜久里、恵藤久美子、徳永二男、矢部達哉、双紙正哉、篠崎史紀、小森谷巧、長原幸太に師事。2011年桐朋女子高等学校音楽科卒業、2015年桐朋学園大学音楽部卒業。第64回全日本学生音楽コンクール東京大会入選。第17回日

本モーツアルト音楽コンクール入選。N響アカデミー2014-2016。日本演奏連盟リサイタルシリーズOITA 合格。文化庁/日本演奏連盟主催 新進演奏家育成プロジェクト・リサイタルシリーズ大分第7回出演。北九州国際音楽祭、田中千香士音楽祭、宮崎国際音楽祭に出演。



● ヴィオラ 正田 韶子 (しょうだ・きょうこ)

1994年神奈川県横浜市出身。桐朋女子高等学校(男女共学)を経て、桐朋学園大学音楽学部を卒業。18歳より佐々木亮氏に師事、ヴィオラの指導を受ける。2013年ザルツブルク=モーツアルト国際室内楽コンクール第1位。翌14年にザルツブルクのミラベル宮殿にて

て演奏。別府アルゲリッチ音楽祭、小澤征爾音楽塾などに参加。大学在学時にオーディションを受け、2017年より読売日本交響楽団ヴィオラ奏者。現在はオーケストラの他、室内楽など様々な分野に活動の幅を広げている。



● チェロ・お話 渡部 玄一 (わたなべ・げんいち)

東京藝術大学附属高校を経て、桐朋学園大学卒業。同校研究科卒。1993年米国ニューヨークのジュリアード音楽院卒。ニューヨーク在住中に国連総本部やリンカーン・センターなどで数度に渡りリサイタルを開催、好評を博す。米国インディアナ大学でさらに研さんを積んだ後、95年帰国。以来、NHK-BS、NHK-FM 出演をはじめ、ソリストとして、また室内楽、オーケストラ奏者として幅広く活躍している。2003年より文化庁海外派遣員として一年間ドイツのミュンヘンにて研修。08年東京アンサンブルギルド設立。通常

のコンサート活動以外にも日本各地を訪ね 200校以上の学校を訪問し、また介護施設、養護学校、少年院等の訪問演奏も積極的に行っている。チェロを主に堤 刚、木越 岬、H.シャビロ、W.ノータスの各氏に師事。現在、読売日本交響楽団団員、及びフェリス女学院講師。著作に『知的生活の方法—音楽編』(共著、ワック出版)、『ワタナベ家のちょっと過剰な人びと』『明朗であれ父、渡部昇一が遺した教え』(海竜社出版)などがある。2011年7月、ファーストアルバム CD「It's Peaceful Here ここは良きところ」をリリース。



● ピアノ 佐野 隆哉 (さの・たかや)

ダイナミックにして繊細。「色彩感」と「叙情性」に満ちた"実力派"ピアニスト。都立芸術高校、東京藝術大学を経て同大学院修士課程を修了。2005年に渡仏後、スコラ・カントルム音楽院を最優秀で修了。2006年、日本人男性として初めてパリ国立高等音楽院第三課程研究科からの入学を許可され、2008年に修了。併せて2010年、室内楽科を最優秀で卒業。在学中、明治安田生命クオリティオブライフ文化財団より奨学金を授与される。日本音楽コンクール第2位入賞(03年)を始めホセ・ロカ国際第2位(スペイン・08年)、ロン=ティボー国際第5位及び聴衆賞、特別賞(仏・09年)等、国内外の国際コンクールで入賞。ショパン国際ディプロマ受賞(ポーランド・10年)。これまでにソリストとして、

フランス国立管弦楽団、NHK交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団等々と共に演奏。近年では、東京春音楽祭、仙台クラシックフェスティバル等に出演のほか、ファイナルファンタジーXVピアノコレクションに参加するなど、活動の幅を広げている。現在、国立音楽大学、都立総合芸術高校各非常勤講師。平成16年度青梅市芸術文化奨励賞受賞。第3回グラヲ音楽賞受賞。CD「DANZA」(LPDCD-010)、「クロイツァーの記憶(NAT15431-2、レコード芸術特選盤)」、「ドゥーズ・エチュード(NAT17481、レコード芸術特選盤)」をリリース。HP:takaya-sano.com



来場される方へ

- 発熱や咳・咽頭痛などの症状や過去2週間以内に感染の可能性がある行動歴がある場合は来場をお控えください
(その場合に限り、後日チケットの払い戻しを致します)
- チケットのおもて面に「お名前」と「お電話番号」を記載してください
- マスクの着用を必ずお願いします
- 会場受付にて手指の消毒をお願いします
- 会場内、特に手洗い等では、人ととの間隔をあけてください
- 感染のリスクを避けるため、出演者へのプレゼントや御面会は御遠慮ください

新型コロナウイルス 感染防止対策として

〈右記のご協力をお願いします〉

コンサートスタッフの取り組み

- 会場入口にて非接触検温計にて体温測定をさせていただきます
- スタッフがマスクや手袋等を着用します
- 現金やチケット受け渡しの際は、トレイを活用します
- スタッフの体調管理を万全に致します
- お手洗いドアの把手など消毒につとめます
- 新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、入場人数に制限を設けることがございます

